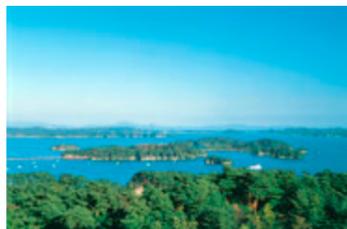


## 松島町って どんな町?



提供：松島町企画調整課

### 【松島町の基本データ】

- ◇人 □：15,085人
- ◇世帯数：5,126世帯  
(平成22年国勢調査より)

### 【松島町の紹介】

松島町は、宮城県の海岸部中央にあり、仙台市の北東約20kmに位置しています。

松島町の風景は「日本三景」に数えられ、年間約370万人もの観光客が訪れる全国有数の観光地です。松島湾には大小260あまりの島々が浮かび、四季を通じてそれぞれ異なった景観を呈する自然美と、伊達正宗の菩提寺である国宝瑞巖寺など、数多くの歴史的・学術的にも価値の高い文化遺産が残され、国の特別名勝にも指定されています。

また、平成25年12月には、カンボジア王国カンポット州で開催された「第9回世界で最も美しい湾クラブ世界会議」において、松島湾が「世界で最も美しい湾クラブ」への加盟を認められました。これまで日本の加盟湾はなく、松島湾は日本で初めての加盟湾となりました。

産業では、観光業をはじめ、農林業、漁業、商工業など、様々な産業がバランスよく発達し、町の活力を支えています。

※「世界で最も美しい湾クラブ」とは、国連教育科学文化機関（ユネスコ）が後援する非政府組織（NGO）です。松島湾のほか、フランスのモンサンミッシェル湾、ベトナムのハロン湾などが加盟しています。

### 【資料1】これまでの中山町と他団体との災害協定

災害発生時には初動対応が重要であり、迅速かつ適切に災害対応を行い、町民の皆さんの生命・財産を守るためには、他の自治体や民間企業の皆さんのご協力が必要です。

町では、下記のとおり応援協定等を締結しています。

協定締結時期	協定先	協定内容
平成7年	山形県内全ての市町村	人員や飲食物等の支援
平成24年5月	東北カートン(株)	物資の提供
平成24年6月	中山建設同友会	人員や建設機械等の支援
平成24年7月	(株)ヤマザワ	物資の提供
平成24年7月	(株)ヤマザワ薬局	物資の提供
平成25年2月	山形県生活協同組合連合会	物資の提供、ボランティア活動の支援

### 【資料2】協定の概要

被災町の応援要請のあった場合や、被災町と連絡がとれないほど甚大な被害を受けた場合は自主的に次のような応援を行うものとします。

- (1) 食糧、飲料水、生活必需品、その供給に必要な機材の提供
- (2) 応急対策用資機材（医薬品を含む）の提供または貸与
- (3) 応急活動に必要な職員の派遣
- (4) 被災者および避難者の一時受け入れ
- (5) その他、被災町が必要と求めるもの



大橋健男松島町長(左)と大津町長(右)

# 宮城県松島町と 災害時相互応援協定を締結

6月30日、松島町役場（宮城県松島町）において、中山町と松島町との「災害時における相互応援に関する協定」締結式が行われました。

#### 災害時相互応援協定とは？

この協定は、平成23年3月に発生した東日本大震災や、昨年7月に山形県を襲い、当町にも冠水などの甚大な被害をもたらした豪雨災害を教訓に、広域的な大規模災害が発生した場合に、同時に被災する可能性の低い遠隔地の自治体と相互応援を行う体制を整えるものです。

中山町は、これまで民間企業や山形県内の市町村と「資料1」のとおり協定を結んでおりますが、県外の自治体と相互応援協定を結ぶのは、今回が初めてです。

#### 協定を結ぶまで

中山町と松島町との交流のきっかけは、平成23年11月に松島町で



協定書に署名を行う両町長

開催された「松島復興かきまつり」というイベントに町観光協会が出店し、特産物を販売したことでした。中山町の特産物は大好評で、以来、毎年このイベントに参加し中山町のPRと物産交流を行っています。

こういった物産交流を契機とし、昨年中山町から松島町に協定の締結を申し出、松島町から了承をいただいたことで本協定の締結に至りました。

締結式では、大津町長と大橋健男松島町長が、両町議会議長立ち会いのもと、「松島町と中山町の災害時相互応援協定書」に署名・捺印し、協定を交わしました。

協定書の内容は、中山町、松島町のいずれかの町において、地震等の大規模な災害が発生した場合、食糧、飲料水、生活必需品等の提供をはじめ、職員の派遣、被災者および避難者の受け入れ等の支援について定めたものです（詳細は、「資料2」をご覧ください）。

協定締結後、両町長は次のように挨拶を述べられ、この協定締結を契機として、両町の交流をさらに深めていくことに意欲を示していました。



宮城県松島町  
大橋 健男 町長

◆松島町は、すでに県外の複数の自治体と応援協定を結んでいるが、今回の協定締結で、県外の自治体としては中山町が1番近くなつた。いざという時に、お互いに迅速に対応できるという点で、本日の協定締結は大変意義があり、将来に対して希望が持てる。

◆今回は災害時の相互応援ということだが、松島町と中山町は観光や物産などの交流も進んでいるので、そういった形でも未永くお付き合いできればと考えている。



中山町  
大津 保信 町長

◆災害時における県外の自治体との協力体制の強化は、当町の重要な課題であった。

◆この協定の締結は、お互いの町に暮らす町民にとって安全を確保するうえで非常に有効なものである。

◆今後、災害時の相互応援はもとより、両町民の絆がより強固なものとなり、様々な形で中山町と松島町の交流の輪がいつそう広がることを期待する。また、交流を通してお互いの町の発展を目指していきたい。